

日興FWS・先進国株クオリティ(為替ヘッジあり)

追加型投信/海外/株式

日経新聞掲載名：NS先株ク有

2024年8月1日から2025年7月31日まで

第 4 期 決算日：2025年7月31日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除く先進国の株式に投資し、クオリティを重視したアクティブ運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

当期の状況

基準価額(期末)	9,931円
純資産総額(期末)	257百万円
騰落率(当期)	+3.7%
分配金合計(当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

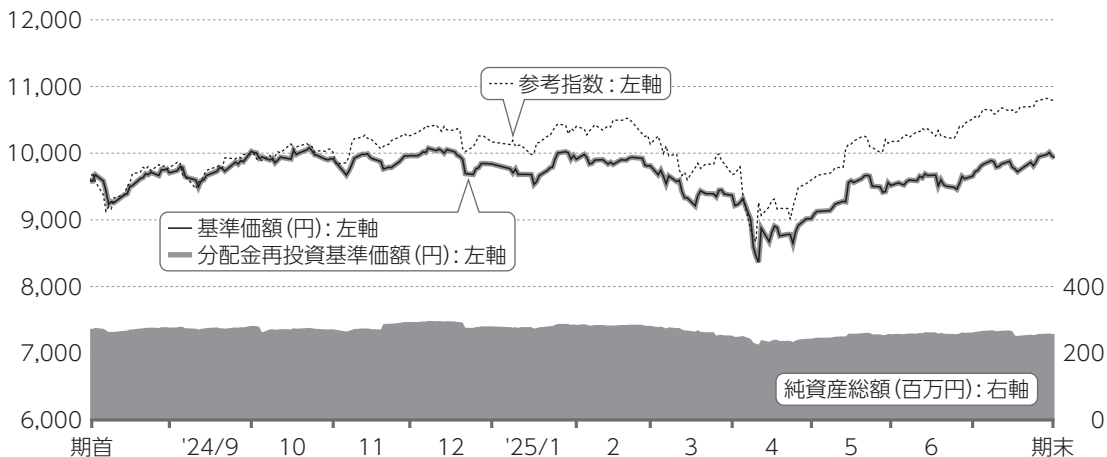
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2024年8月1日から2025年7月31日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	9,580円
期末	9,931円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+3.7% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ヘッジ換算ベース)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因(2024年8月1日から2025年7月31日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除く先進国の株式に投資し、クオリティを重視したアクティブ運用を行いました。

実質組入外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

上昇要因

- インフレが落ち着きを見せたことにより、米欧で利下げが実施されたこと
- 底堅い景気や概ね堅調な企業業績を背景に、米経済のソフトランディング(軟着陸)の見方が強まったこと
- 米国と主要貿易相手国との貿易交渉が進展したこと

下落要因

- 期初の軟調な米雇用統計や米中の製造業指標を受け、世界的な景気悪化への懸念が高まったこと
- 米相互関税導入に伴う貿易摩擦の激化と世界景気への悪影響に対し、懸念が高まったこと

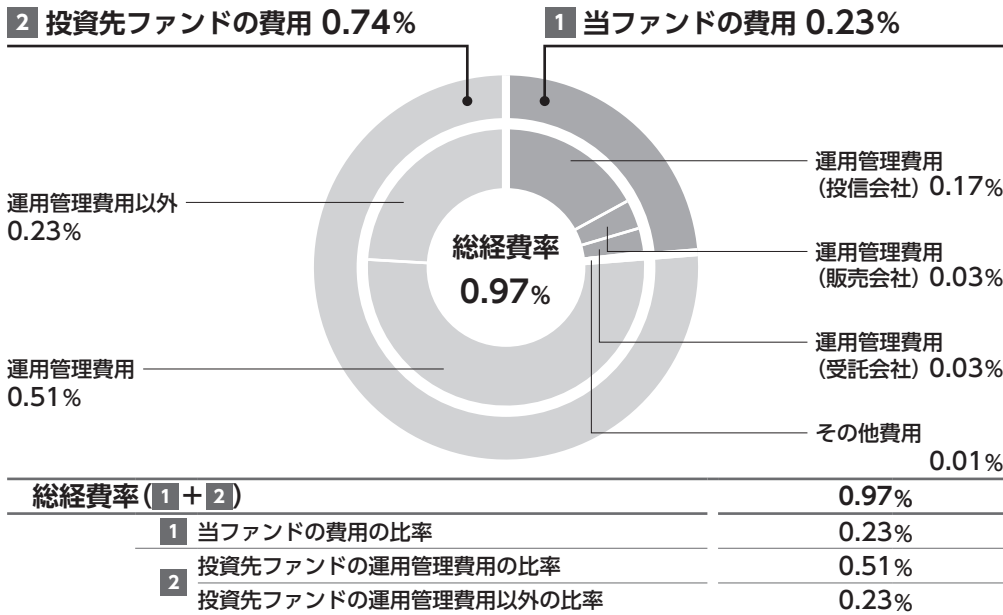
1万口当たりの費用明細(2024年8月1日から2025年7月31日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	22円	0.225%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 期中の平均基準価額は9,659円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0.165)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販 売 会 社)	(3)	(0.033)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.027)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数
(株 式)	(-)	(-)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数
(株 式)	(-)	(-)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公 社 債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	0	0.005	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(-)	(-)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.005)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(そ の 他)	(-)	(-)	そ の 他:信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	22	0.230	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
 ※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
 ※各項目毎に円未満は四捨五入しています。
 ※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。
 ※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



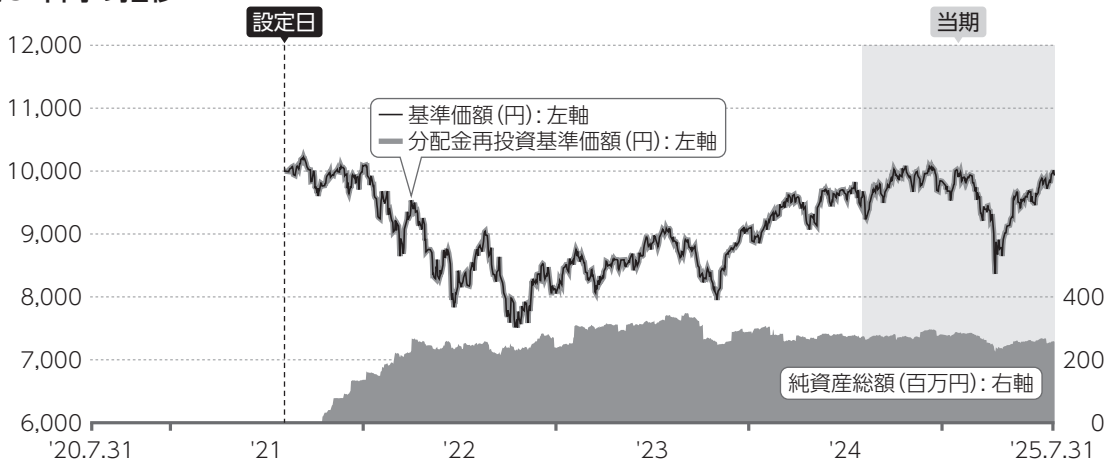
※1の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。
 ※2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、「1万口当たりの費用明細」をもとに、投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。
 ※1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。
 ※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は0.97%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2020年7月31日から2025年7月31日まで)

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日(2021年8月3日)以降の情報を記載しています。

最近5年間の推移



		2021.8.3 設定日	2022.8.1 決算日	2023.7.31 決算日	2024.7.31 決算日	2025.7.31 決算日
基準価額	(円)	10,000	8,716	9,035	9,580	9,931
期間分配金合計(税引前)	(円)	-	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	-	-12.8	3.7	6.0	3.7
参考指数騰落率	(%)	-	-7.1	7.6	11.5	12.6
純資産総額	(百万円)	1	252	340	273	257

参考指数について

※外国の指数は基準価額への反映を考慮した日付の値を使用しています。
 ※参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

投資環境について(2024年8月1日から2025年7月31日まで)

グローバル株式市場は上昇しました。

グローバル株式市場は上昇しました。期初は、軟調な米雇用統計や米中の製造業指標を受けて下落する場面がありました。しかし、インフレが落ち着きを見せる中、9月にF R B(米連邦準備制度理事会)が約4年半ぶりに利下げに転換するなど、米欧の中央銀行が利下げに動いたことや、底堅い景気や堅調な企業業績を背景に米経済のソフトランディングの見方が強まったことで上昇基調となりました。その後も、米新政権による保護主義的政策への懸念や米利下げペース鈍化観測といった悪材料をこなしつつ、2025年2

月中旬まで概ね上昇基調を維持しました。しかし、2月下旬以降は、米関税政策の不透明感から下落に転じ、4月には米相互関税導入に伴う貿易摩擦激化と世界景気への悪影響への懸念を受けてリスク回避の動きが強まり急落しました。4月中旬以降は、米中貿易摩擦の緩和期待から反発し、堅調な企業業績や米欧の利下げ期待が支えとなり上昇を続けました。期末にかけても、米国と日本などの主要貿易相手国との貿易交渉の進展を受けて堅調となり、高値圏で期を終えました。

ポートフォリオについて(2024年8月1日から2025年7月31日まで)

当ファンド

「MF S グローバル・クオリティ・グロース株ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)」の組入比率を高位に保ちました。

MF S グローバル・クオリティ・グロース株ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)

「MF S グローバル・クオリティ・グロース株

マザーファンド」の組入比率を高位に保ちました。実質組入外貨建資産については、原則として、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指しました。

(MF S グローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド)

●株式組入比率

主に日本を除く先進国の株式等の中から、中長期的に成長が期待できる銘柄を中心に投資を行い、株式組入比率は期を通じて高位に維持しました。

●国別配分

期末では、純資産総額の70%弱を米国に投資しています。米国以外では、フランス、中国の比率が高くなっています。

●通貨配分

期末では、純資産総額の70%以上が米ドル建てです。米ドル以外では、ユーロや香港ドル建ての比率が高くなっています。

●業種配分

期末の組入上位業種は、情報技術、金融、資本財・サービスとなっています。これらの3業種の合計で純資産総額の60%以上を占めています。

●個別銘柄

期末の組入上位銘柄は、大手ソフトウェアメーカーのマイクロソフト(米/情報技術)、集積回路メーカーの台湾セミコンダクター(台湾/情報技術)、クレジットカード決済サービスのビザ(米/金融)となっています。

期中の売買では、ヘルスケア・化粧品大手のロ

リアル(仏/生活必需品)や世界有数の株式取引所のロンドン証券取引所グループ(英/金融)などを新規に組み入れた一方、スポーツ用品大手のナイキ(米/一般消費財・サービス)や大手化粧品メーカーのエスティローダー(米/生活必需品)などを全売却しました。

●ポートフォリオの特性

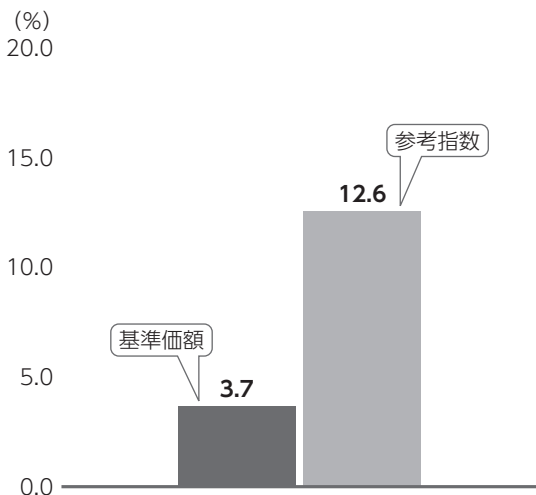
企業ファンダメンタルズ(業績、財務内容などの基礎的諸条件)の分析に基づき、強い価格決定力を備え、クオリティの高い持続的なキャッシュフローの成長が期待できる企業群への投資を継続しています。その結果、期末では、10業種71銘柄に分散したポートフォリオを構築しています。

キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2024年8月1日から2025年7月31日まで)

基準価額と参考指数の騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ヘッジ換算ベース)を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

分配金について(2024年8月1日から2025年7月31日まで)

(単位:円、1万口当たり、税引前)

項目	第4期
当期分配金	0
(対基準価額比率)	(0.00%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	912

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

2 今後の運用方針

当ファンド

「MF Sグローバル・クオリティ・グロース株ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)」の組入比率を高位に保ちます。

MF Sグローバル・クオリティ・グロース株ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)

「MF Sグローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド」の組入比率を高位に保ちます。

実質組入外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。

(MF Sグローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド)

当ファンドは中長期的な視点から、本業に強み

を持ち、市場平均以上の収益やキャッシュフローの成長が継続的に期待され、かつバリュエーション(投資価値評価)も割安に放置されていると考えられるクオリティの高い企業群への投資を継続します。世界の金融市場や経済の動向、地政学リスクなどに留意しながら、MF S独自のリサーチプロセスに基づき短期的で不安定な市場の動向に過剰反応することなく、あくまで長期的視野に基づいた投資行動を行います。

キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

3 お知らせ

約款変更について

- 投資助言会社を「S M B C日興証券株式会社」から「S M B Cグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社」へ変更することに伴い、信託約款に所要の変更を行いました。(適用日：2024年10月29日)
- 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。(適用日：2025年4月1日)

交付運用報告書の電磁的方法による提供(電子交付)の推進について

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われました。受益者の皆さまへの交付運用報告書の提供に関する規定について、従来は書面交付を原則としていましたが、書面交付または電磁的方法(電子メールへのファイルの添付、販売会社等のホームページにアクセスして閲覧等)による提供のいずれかに変更されました。

交付運用報告書を電磁的方法で提供することにより、書面の印刷および配送にかかる期間が短縮され、受益者の皆さまが、より早期に交付運用報告書をご覧いただくことや、時間や場所を問わずにご覧になることが可能になると考えられます。また、ペーパーレス化が推進されることにより、森林資源の保護や印刷・配送に伴う二酸化炭素の排出量の削減につながることが期待されます。

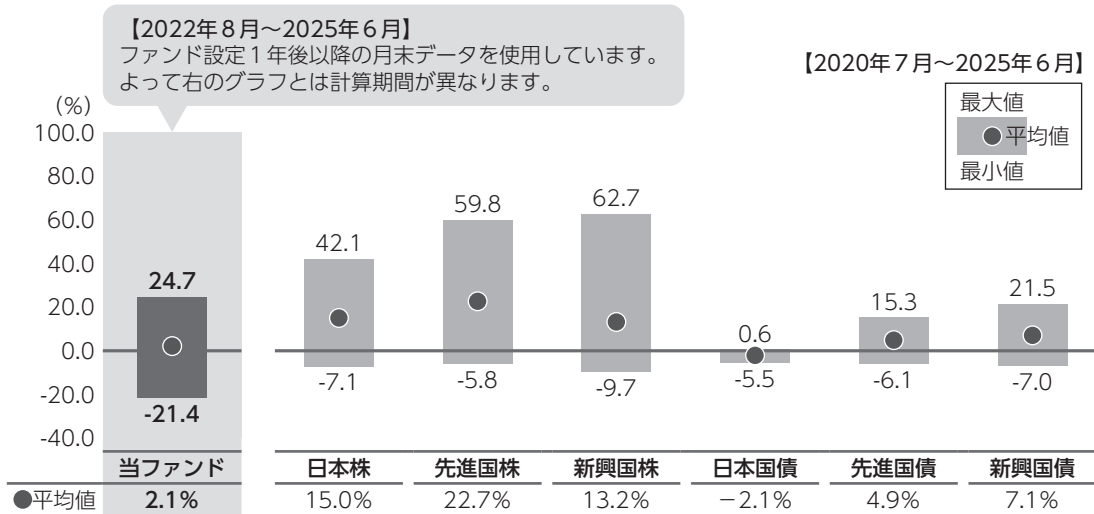
今後、電磁的方法による提供を実施することに関し、受益者の皆さまに事前告知等が行われますが、希望される場合には引き続き書面交付をすることも可能です。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法による交付運用報告書の提供を進めてまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信/海外/株式
信託期間	無期限(設定日:2021年8月3日)
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除く先進国の株式に投資し、クオリティを重視したアクティブ運用を行います。 当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。
主要投資対象	MF Sグローバル・クオリティ・グロース株ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用) MF Sグローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド キャッシュ・マネジメント・マザーファンド 本邦貸建て公社債および短期金融商品等
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ■投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除く先進国の株式に投資し、クオリティを重視したアクティブ運用を行います。 ■指定投資信託証券の選定については、SMB Cグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社からの助言を受けます。なお、指定投資信託証券は、継続的にモニタリングを行い必要な場合は入替も行います。 ■実質組入外貨建資産については、指定投資信託証券において、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ■年1回(原則として毎年7月31日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みず。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。
(基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。
※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。
※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX(東証株価指数、配当込み) 株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI(国債) 野村フィデュシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。
※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

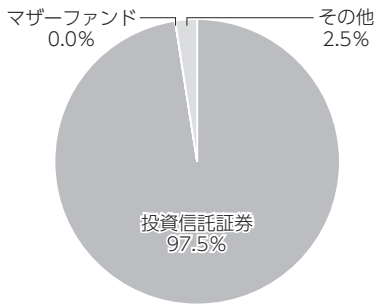
当ファンドの組入資産の内容(2025年7月31日)

組入れファンド等

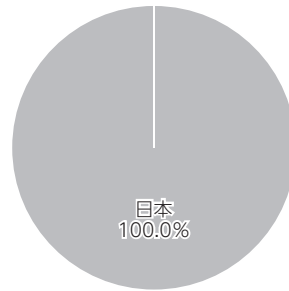
銘柄名	組入比率
MFSグローバル・クオリティ・グロース株ファンド (為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	97.5%
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	0.0%
コールローン等、その他	2.5%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

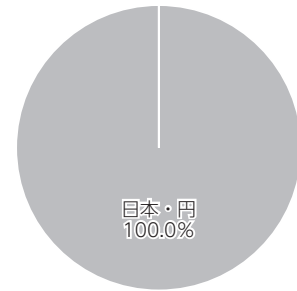
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(ポートフォリオ比)



通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

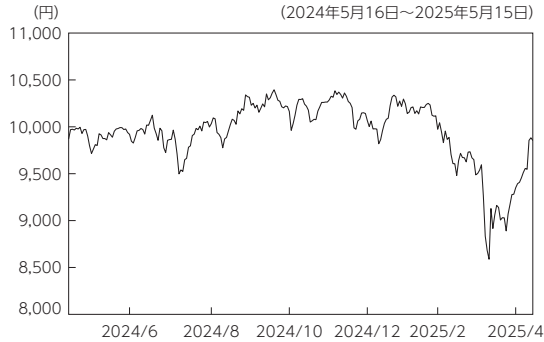
項目		第4期末 2025年7月31日
純資産総額	(円)	257,504,814
受益権総口数	(口)	259,290,206
1万口当たり基準価額	(円)	9,931

※当期における、追加設定元本額は39,570,330円、解約元本額は65,554,608円です。

組入上位ファンドの概要

◆MFSグローバル・クオリティ・グロース株ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)
(2024年5月16日から2025年5月15日まで)

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

(2024年5月16日～2025年5月15日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	51 (49) (0) (2)	0.517 (0.495) (0.003) (0.019)
(b) 売買委託手数料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	2 (2) (0)	0.021 (0.021) (0.000)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (監 査 費 用)	24 (13) (11)	0.239 (0.131) (0.108)
合 計	77	0.777

期中の平均基準価額は、9,955円です。

- (注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○組入上位ファンド

(2025年5月15日現在)

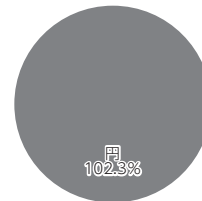
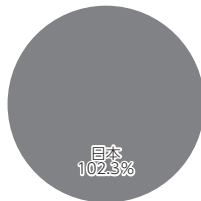
銘柄名	第4期末
MFSグローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド	% 102.3
組入銘柄数	1銘柄

- (注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2) マザーファンドの組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

○資産別配分

○国別配分

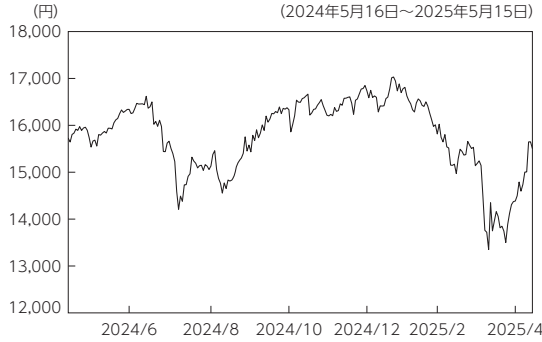
○通貨別配分



- (注1) 構成比は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

<ご参考> MFS グローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

(2024年5月16日～2025年5月15日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	3 (3) (0)	0.021 (0.021) (0.000)
(b) その他費用 (保 管 費 用)	19 (19)	0.121 (0.121)
合 計	22	0.142

期中の平均基準価額は、15,781円です。

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

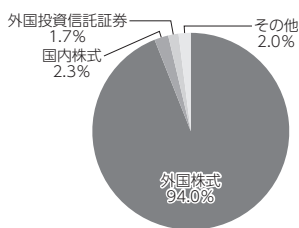
○組入上位10銘柄

(2025年5月15日現在)

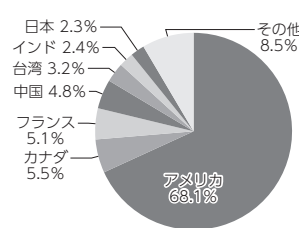
順位	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	6.8%
2	VISA INC-CLASS A SHARES	金融サービス	アメリカドル	アメリカ	3.5%
3	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	半導体・半導体製造装置	アメリカドル	台湾	3.2%
4	TENCENT HOLDINGS LTD	メディア・娯楽	香港ドル	中国	2.9%
5	ACCENTURE PLC-CL A	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	2.6%
6	NVIDIA CORPORATION	半導体・半導体製造装置	アメリカドル	アメリカ	2.5%
7	HDFC BANK LTD-ADR	銀行	アメリカドル	インド	2.4%
8	SALESFORCE INC	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	2.4%
9	TRANSUNION	商業・専門サービス	アメリカドル	アメリカ	2.2%
10	CANADIAN PACIFIC KANSAS CITY	運輸	アメリカドル	カナダ	2.2%
組入銘柄数			73銘柄		

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

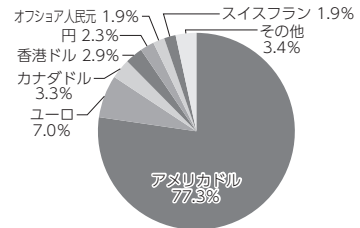
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 構成比は純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注3) コール・ローン等は「その他」に分類しています。